

やすらぎの里づくり憲章（将来ビジョン）

21世紀の幕開けにあたり わたしたちは誇りと生きがいと愛をもって「やすらぎの里づくり」に取り組み 明るい未来への橋渡しをします

- 人と人との和を大切にし 豊かなところを育てます
- 美しい景観や恵まれた自然を大切にし やすらぎのある暮らしを育みます
- 農林業資源を活かし うるおいのある暮らしを創造します
- 住みやすく訪れやすい環境をつくり にぎわいのある里をつくります
- 伝統文化を大切にし 心温まる里をつくります

会全体

広報部

営農部

景観・環境部

文化・交流部

棚田清流の会「活動計画」（平成14年度～） ※裏面

実行計画 平成23～27年度

▼取組の方向性

○地域外との交流による“いやし”を提供できる里

地域で収穫できる農産物を活用し、地域住民で加工した特産品・土産品づくりに取り組み、現在取り組んでいる体験交流に併せて、都市住民に特産品・土産品の提供・販売を行う。そのためには、地域内に点在する空家等を加工所として活用し、特産品の販売や交流により地域の人々の少し収入源として、高齢者の働ける場所づくりに取り組む。

将来的には、道の駅での販売や直売所の設置による安定的な販売を目指す。

○地域内での交流による“健康”に暮らせる里

地域のカンヌキ山の間伐剤を活用して、地域内でも交流できる場づくりに取り組む。取組にあたっては、これまで培ってきた地域外との交流体験のノウハウを活かし、都市住民との林業体験交流による手づくりのログハウスづくりに取り組む。

将来的には、農家レストランとして活用し、地域の健康的な食を提供する場とする。

空家等を活用した加工所づくりと加工品開発

◆地域の農産物を活用した加工品づくり

<桜もちづくり>

- ・中須の桜（ウスズミ桜）の小さい葉を活用
- ・桜の葉ごと食べられる小ぶりの桜もち（あんこの中に桜の花びらを入れる）
- ・棚田で獲れる黒大豆を活用したあんこづくり
- ・桜もちなどの加工品を試作品づくり

<味噌づくり>

- ・個人で味噌づくりを行っている先進地への視察

<なかずおもてなしセット>

- ・地域の高齢者との談話による伝統料理の発掘
- ・地域の農産物の漬物づくり（大根・白菜など）
- ・桜もち、茶がゆ、味噌、漬物などの「中須のおもてなしセット」を開発

◆空家等を活用した加工所づくり

- ・加工所として使える空家をリサーチ
- ・空家の活用だけでなく、集会所の活用や新築などの検討
- ・流し、手洗い場など設備などの最低限の整備
- ・空家を加工所として許可登録
- ・地域にきた人や交流の場で加工品を販売
- ・販売だけでなく、空家を活用して食事をふるまう

体験交流の場づくり

◆林業体験による新たな交流づくり

- ・カンヌキ山を活用した林業体験（11月～2月までの4回シリーズ）
- ・木の伐採体験、木の皮剥ぎ体験、木材の加工体験などメニューの検討
- ・メニューに合わせた外部講師の招聘

◆手づくりのログハウスづくり

- ・ログハウスの計画づくり
- ・外部からの専門家の招聘
- ・ログハウスづくり体験交流の企画
- ・活動拠点、飲食店営業ができる施設整備
- ・農家レストラン、地域の交流の場としての活用

棚田清流の会活動計画【平成14年度～】

会全体

目標	活動内容
棚田オーナー制度	オーナーの段階分け
体験交流	地元とのふれあいメニューづくり 田舎暮らし体験（ホームステイ）
宿泊施設の整備	交流拠点整備計画づくり 交流拠点の整備、農家民泊の検討（勉強会）
中須のPR	棚田の顔（焼酎など）づくり検討
棚田応援隊	草刈り応援団募集・援農の仕組みづくり
会の運営	全員が参加できる小さい交流会をたくさん持つ 親から子へ地域のことを語っていく

広報部

目標	活動内容
まちの人に情報発信していこう ・棚田通信発行 ・パネル作成・展示・紹介活動 ・各イベント案内 ・ホームページから全国へ向けてPR	通信の作成・発行 各集落、イベント毎に実施 イベント案内チラシの作成、配布 ホームページ立上げ準備。立上げ、運営
地域内での活動紹介	各集落、イベント毎に実施 ミニ棚田通信の発行

営農部

目標	活動内容
作業の省力化	草刈り等の省力対策
お金のかからない農業	石垣の補修を指導してもらう
特産物づくりと技術伝承、活動資金づくり	もち・そば・大豆・野菜等を販売する 味噌・漬物・コンニャク・豆腐などの技術習得と販売検討 もち米・きび・さつま芋の栽培
地域住民や都市住民と協力し合う農業	共同農作業・手伝いをする 地域の人たちが助け合っていく。集落を超えた手間替え精神の復活
その他	生産性向上と景観保全どちらでも選択していけるよう仕組みを検討する 荒廃地を少しずつ田に戻す

景観・環境部

目標	活動内容
花を植えよう	
竹藪の除去とその後の管理	竹を切ったところは草を刈って手入れをする 要望に応じて竹藪を除去する 花の咲く河川公園、山野草園をつくろう
憩いの場をつくろう	地域の立寄りポイントにミニ休憩コーナーをつくろう 愛鳥の森公園をつくろう
木を植えよう	黒石川の両岸に大きくなならない木（あじさい、つつじ等）を植える 木を育て炭焼きをする（炭焼きの勉強会）
ホタルの里づくり	里づくりに向けて整備を行う 小川を使用して水生生物を飼ってみよう
黒石川を保全	毎年、黒石川の草刈りをする
ハード面の環境整備	休耕田、川岸に子供の遊び場をつくる 黒石川・農道の整備
案内板を設置	中須北全体の案内板

文化・交流部

目標	活動内容
昔の知恵を伝えていこう	わら細工、こんにやく、とうふづくりを学ぼう （子どもたちに昔の生活や知恵、くらしを伝えていく）
地域財産の保持と伝統文化の復活	おじいさん、おばあちゃんから言い伝えや歴史について聞き書きし、とりまとめておこう（妙見神社、盆踊り、阿田社等歴史的産物を将来に残そう）
美しい景観を伝えていこう	フォトコンテスト開催 カレンダーやポストカードづくりの検討
多世代交流を進めよう	そば打ち、わら細工（正月飾り、こも、俵、むしろ、ほぼろ） 中須地巡り、飲み会、食事会、花見 棚田ビアガーデン
手作り食品の技術伝承と加工品販売	手作り加工品の作り方をお年寄りから習い、伝えていく（味噌、漬物、生姜、こんにやく、豆腐、郷土食など） ご近所どうしの味比べ 中須北の顔となる加工品作りを検討しよう